

THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

地域を育み、大陸をつなぐ
Building Communities, Bridging Continents
国際ロータリー会長 レイ・クリンギンスミス



ロータリーを楽しもう
Enjoy Rotary
富津中央RC会長 原田 雅式

2010～2011

国際ロータリー 第 2790 地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.2196 第34回例会 2011. 3. 31 晴

点 鐘：原田雅式 会長

進 行：須藤 隆 SAA

ソング：我らの生業

会長挨拶

原田雅式 会長



皆さんこんにちは。3月25日(金)旭市にボランティアとして行ってきました。ボランティアセンターに行くと、赤十字の責任者がいきなり私にボランティアの受付をしてくれませんか？ということでした。きっとこの年寄りに現場のガラクタを片づけたり、泥を土のう袋に詰めたりさせたら悪いと思ったのか、そんなことから800人のボランティア受付をしました。

聞けば20日～21日の休みには2,000人もきて収集がつかず、300人位の方には帰ってもらったとか。受付は20項目位のチェック項目があり、手袋、マスク、帽子、お昼の弁当を持参したか？その他、緊急連絡先、健康状態、便通、食欲、アレルギー、夕べお酒を飲みましたか？……等。

袖ヶ浦の知り合いの宮司さんや、富津の下飯野からも2人きて、同じ富津ということで握手したりと楽しく仕事をしてきました。特に注意されたのが悲惨な現場の写真は絶対取らないで下さいと、赤十字本部にクレームが相当きたようです。

一方、福島原発も放射能もれで大変なことになっておりますが、チェルノブイリは現在でも3,900の方が仕事をしているようです。あの原発はおさまるのにまだ50年かかるそうですが、福島もそうならない事を願っております。

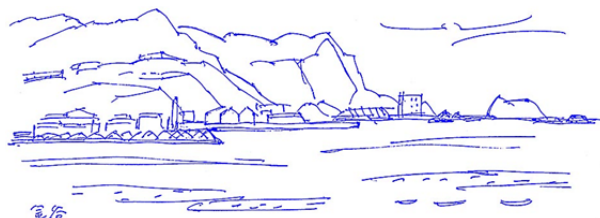
幹事報告

平川恵敏 幹事



1. 例会変更
君津RC 4月4日(月) 12:30→18:00
場所 ホテル千成 3F
2. 第3回日台ロータリー親善会議の中止案内
6月10日(金) 開催予定を中止します。
3. 東日本大震災義援金21万円、本日送金。

〒293-0042 富津市小久保2868
さざ波館 Sazanami-kan
2868 Kokubo Futtsu-shi Chiba-ken,
Zip code 293-0042
Tel.0439-65-3373 Fax 0439-65-3304
URL <http://www.7b.biglobe.ne.jp/~fcr>



委員会報告

地区協議会開催案内

小野恒靖 会長エレクト



日時：4月24日（日）9:00 点鐘

場所：アパホテル東京ベイ幕張

出席義務者一覧表を回しますので出欠表示をお願いします。

卓話

南米旅行

須藤 隆 会員



リオのカーニバルとイグアス大瀑布をメインとする10日ほどの旅に出た。南米は飛行機だけでも一昼夜以上の旅で何しろ遠い。今回は遠すぎるの理由で女房に参加を拒否され、志波さんと男同士で参加するツアーの旅となった。往きは中東カタールの首都ドーハに立ち寄り、市内観光をした。カタールは、アラビア半島東側のペルシャ湾に突き出た半島で秋田県ほどの面積を有し、人口160万人程で、そのうちアラブ人は4割で、パキスタン人、インド人、イラン人、フィリピン人、ネパール人が残りの6割を占めているという。経済は石油と天然ガスに依存し、特に天然ガスの埋蔵量は世界の14%を占めている。一人あたりの GDP は約6万ドル(約500万円)で日本のそれよりもかなり高い。国が豊かなこともあり、市場の店先でも決して売り込もうとせず、買

うなら買ってくださいという感じで販売員も鷹揚である。市内の道路は整備され、中央分離帯には木や花が植えられ、町全体がきれいに管理され好印象である。あちこちが工事中でまだまだ整備発展途上である印象を受けた。中東のドバイ、アブダビ、ドーハには世界の建設機械の3割が集まっていると言われていたほどに建設ラッシュで、数年後にこれらの都市はさらに変容しているであろう。観光資源はこれといったものはなく、訪れたところは、青果市場、競馬場、食肉用ラクダの市、ショッピングモール、イラク戦争や中東の放送で有名なアルジャジーラの放送局、ドーハの悲劇で有名になったサッカー場等である。

ドーハから15時間程かけてサンパウロに到着。翌日飛行機でサンパウロからリオデジャネイロに向かう。リオデジャネイロの印象は、南米のハワイを思わせる。4.3Kmもある長い海岸線とその広い浜辺は豊かな胸とお尻が目につく水着姿の大勢の観光客で賑わっている。リオの観光資源は、広く美しい海岸とその近在にある海拔数百メートルの山からの展望である。それとなんとと言っても世界的なイベントとして知られるリオのカーニバルである。カーニバル会場は幅20M、長さ600Mぐらいの通りの両サイドに8万人が収容できるという観客席が設けられている。ちょうど6チームによるチャンピオンコンテストの行進を観た。一チーム60分程度の持ち時間で、数百名が、徒歩といろいろな仕立てられた乗り物に乗って、サンバのリズムで情熱的に踊りながら600Mの道のりを行進する。観衆もそのリズムに乗って自然に手と腰が動いている。行進は夜10時ごろから始まり、翌朝5時ごろまで続く。私と志波さんは2チームの行進を観て、カーニバルの雰囲気堪能し、12時過ぎに会場を後にした。一緒に参加したグループの多くの人は朝5時ごろまで観ていたようだ。リオに3日間滞在し、海からリオを臨むクルージングや海拔700m の大キリスト像が建つコルコバードの丘からの眺望等を楽しんだ。

リオから飛行機でブラジル側のイグアスに向かう。イグアスの滝はブラジル南部とアルゼンチンの国境にまたがる世界最大の瀑布として知られる。川幅2.7Kmの豊かな水量をたたえて流れるイグアス川が突然大地に飲み込まれ、数キロメートル離れたとこ

ろからも分かるほどの膨大な水しぶきの白煙を上げて、全長約4Km、落差80m、大小約300の滝が連なり、世界最大の大瀑布を形成している。壮大なイグアスの滝を見るのに2日を要し、1日目はブラジル側から、2日目はアルゼンチン側から見た。いずれもまさに圧巻、迫力満点であり、滝のそばまで行くと白煙で全身びしょ濡れになる。ヘリコプターに乗って上空からも見て、その迫力と美しさを満喫した。南米の世界遺産というよりも地球の神秘であり、まさに地球が誇る遺産とっていい。世界3大瀑布として北米のナイアガラとアフリカ大陸のビクトリアが知られているが、いずれの滝も見た人からの話によると、そのスケールと迫力ではイグアスの滝が抜きん出ているとのことである。35年前に私の母が、姉家族のブラジル赴任で1か月ほどサンパウロに滞在した。その折、イグアスの滝をみてそのスケールの大きい素晴らしさをよく語っていたので一度は行ってみたいと予てより思っていた。今回、自分の目でその素晴らしさを実感できて大変良かった。



2日間のイグアスの滝観光を堪能して飛行機でブエノスアイレスに向かった。ホテルにチェックインし、近くのレストランで食事を済ませ、夜10時ごろから市内の小劇場でアルゼンチンタンゴのショーを観た。なかなか素晴らしいショーであったが、終わってみれば、旅の疲れからか、半分は眠っていたようだ。翌日ブエノスアイレスの市内観光で旅行の最後を締めくくった。ブエノスアイレスは南米のパリと言われているだけあって、市内は整然として美しく、中心の大通りはパリのシャンゼリゼ通り以上の広さがあり、世界一幅が広いと言われている20車線の道路は印象的であった。

帰路はブエノスアイレスを現地時間16日の23時15分に立ち、サンパウロ、ドーハ、関空を経由して成田に18日19時5分に着いたが、実に32時間の長旅であった。

南米高齢旅

志波 克 会員

最近、ゴルフで負けるはずがないと思った相手に時々やられ、年のことを考える様になりました。

そんな時、「カーニバルのリオ3泊とイグアス大瀑布の旅…11日間」と言うパンフレットが来たので女房に見せると、遠い所はいやだから一人でどうぞ、とにべもありません。しかし須藤さんに話すと、勢いよく「行きましょう」の返事で、年のことは忘れて早速申込みました。

満席でキャンセル待ちが続き、出発まで1ヶ月を切った頃空席の連絡を貰い、正直足腰の不安で少し躊躇がありました。行きたい気持ちには逆らえず覚悟を決めて正式申込をしました。

有り難いことに、何事もなく無事に帰ってこれほっとしています。今後もなるべくこのようにうまく行く事を願う所であります。

西回り、中東カタールのドーハに一泊、で行きました。時差はドーハで-6時間、ブラジルのリオで-12時間とめまぐるしく変わります。幸い現地で夜になったら寝る、朝は起きると言うスタイルがうまく機能し、時差ボケには悩まされませんでした。考えてみたら、体内時計の性能が鈍くなってきたことの効用かも知れません。

因みに富津市の真下、地球の裏側はブエノスアイレスの沖合1,600km位の南大西洋上ですので、南米大陸は略々日本の真裏に当たります。

カタールはアラビヤ半島からペルシャ湾に伸びた半島で付け根はサウジアラビアです。北西には海を挟んでバーレーンがあります。税金、電気、水道、教育、医療等みんなただ、社会保障制度完備で治安は大変良好です。

しかし新興国で歴史遺産も少ないので、観光地はありません。市場^{いちば}とか、サッカー場位です。



日本で有名な「ドーハの悲劇」のあったサッカー場でゴールポストの写真を撮り、先日、日本がアジアカップで優勝した新しいサッカー場も見ました。

そのサッカー場に隣接して前ページ写真のラスベガス風・人工空付き大ショッピングセンターがあります。

ドーハには中東のCNNと言われる「アル・ジャジーラ」の本社があり、これも鉄条網の外からですが、見てきました。1月に当クラブでお話を頂いた松本様によれば、アル・ジャジーラの報道は他の諸外国メディアに比べて内容が正確であるとのことでしたので、これも敬意を込めて写真を撮りました。



余談ですが、アル・ジャジーラは西側のアメリカ社会・文化系メディアに対し、アラブ社会・文化系のメディアであり、一時アメリカがアルカーイダとの関係を疑い調査したが立証出来なかったいわれがあるそうです。

日本にも支局があり、中東地域に向けた日本文化の発信基地になっています。アル＝定冠詞、ジャジーラ＝島(アラビア語)だそうです。

その他の観光は、食品市場、食用らくだ市場、日用品雑貨市場、訓練場付き馬ホテル、鷹飼育場、そして中東屈指の金融センターとして急成長している高層ビル群の眺望等でした。市場の商品はきちんと整頓され、売り子が全く客引きをしないのが印象的でした。

自動車のナンバーには私たちの使うアラビア数字とは違うアラビア数字が併記されていたので、暇に任せて0から9まで覚えました。

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

南米ではサンパウロ、リオデジャネイロ、イグアス、ブエノスアイレスに泊まり観光をしました。目玉は、リオのカーニバルとイグアスの滝で、共に天候に恵まれ十分に楽しむことが出来ました。

ブエノスアイレスでは、以前の世界オークションで送られてきた「マテ茶飲み器」を思い出し、購入しました。

又機会がありましたら南米雑感をお話しします。



上から:リオのカーニバル、イグアスの滝、アルゼンチンタンゴ

ニコニコBOX

刈込一弥 親睦担当委員
 小野恒靖 ①国際交流協会の若鍋団長カールスバツ
 訪問団5人が無事帰国しました。地震
 の取材で大変だったそうです。
 ②釧路の孫・二男も佐藤さんの母校胡
 陵高校に合格しました。
 志波 克 卓話をさせて頂いて。
 須藤 隆 " "

合計 3,000 円

出席報告

大須賀三智男 出席担当部長

区分	会員数	出席	欠席	MakeUp	出席率
今回	21/20	16	4		80.00%
前回	21/21	19	2		90.48%